

# 地理歴史

〔世界史B 日本史B 地理B〕 (各科目)  
100点

## 注意事項

- 1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

| 出 題 科 目 | ペ ー ジ | 選 択 方 法                    |
|---------|-------|----------------------------|
| 世 界 史 B | 省略    | 受検できる科目は、受検票に記載されているとおりです。 |
| 日 本 史 B | 2～43  |                            |
| 地 理 B   | 省略    |                            |

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、10 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例1)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例1)

| 解答番号 | 解 答 欄             |
|------|-------------------|
| 10   | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ |

また、「すべて選べ」と指示のある問いに対して、複数解答する場合は、同じ解答番号の解答欄に複数マークしなさい。例えば、20 と表示のある問いに対して①、④と解答する場合は、次の(例2)のように解答番号20の解答欄の①、④にそれぞれマークしなさい。

(例2)

| 解答番号 | 解 答 欄             |
|------|-------------------|
| 20   | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ |

この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

# 日本史 B

(解答番号 1 ~ 32)

**第1問** 以下は、夏期休暇の課題として「夢」をテーマにした日本史のレポートを作成することになった、ある高等学校の生徒たちが提出したものの一部である。それぞれのレポートを読み、(問1～5)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 16)

向井さんのレポート

皇位と「夢」

奈良時代、称徳天皇は夢に宇佐八幡神の使者が現れて、告げたいことがあると言われた。そこで天皇は、和気清麻呂に九州の宇佐八幡の神社まで行って神意を聞くことを命じた。この動きは、当時大きな権力を持っていた僧の道鏡が皇位をうかがっていたことが背景にあった。そして、清麻呂は皇位には皇統の人を立てるべきであり、道鏡に譲るべきではないというのが神意であると報告した。このため、道鏡の野望はくじかれた。怒った道鏡は清麻呂を左遷したが、自分の後ろだてだった称徳天皇が死去すると失脚し、現在の栃木県にあった下野薬師寺の別当に落とされた。

これは『続日本紀』に書かれていることだが、私はなぜ宇佐八幡神の神意が皇位を左右するほどの権威を持つようになったのか、疑問に感じた。

- 問 1 下線部に関連して、向井さんは次のような年表を作って、宇佐八幡神が朝廷にとって重要な存在になっていったことを理解した。年表中の空欄  ～  に入る語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

年表

| 西暦(年) | 事 項                                                                                           |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 712   | 現在の大分県に鷹居社 <small>たかいしや</small> が造られ、八幡神をまつる                                                  |
| 721   | 南九州で <input type="text" value="ア"/> の反乱が起こったが、八幡神によって平定されたと伝わる                                |
| 725   | 現在の宇佐神宮の地に八幡神が遷され、社殿が建てられる                                                                    |
| 740   | 北九州で <input type="text" value="イ"/> の反乱が起こり、大將軍大野東人 <small>おおののあずまひと</small> が宇佐八幡神の加護を得て鎮圧する |
| 743   | 聖武天皇が <input type="text" value="ウ"/> の詔を出すと、宇佐八幡神が日本中の全ての神々を率いて協力するという託宣(注)を出す                |
| 749   | 神輿 <small>みこし</small> に乗った宇佐八幡神が平城京に入り、聖武太上天皇や光明皇太后に迎えられる                                     |

(注) 託宣：神のお告げ

- |        |         |         |
|--------|---------|---------|
| ① アー磐井 | イー藤原広嗣  | ウー国分寺建立 |
| ② アー隼人 | イー藤原広嗣  | ウー大仏造立  |
| ③ アー磐井 | イー藤原仲麻呂 | ウー国分寺建立 |
| ④ アー隼人 | イー藤原仲麻呂 | ウー大仏造立  |

山尾さんのレポート

仏僧と「夢」

昔の人々は、夢を神仏あるいは聖なるものとの出会いの場と考えており、夢の内容を重んじていた。平安時代の初めに真言宗を開いた空海は、修行中に多くの教典を読破したが、自分の心を満たすものはなかった。そこで本当の教えを知りたいと仏に祈ったところ、大和の久米寺の東塔にあるという夢のお告げを得たので、空海はそこで「大日経」を見つけた。「大日経」を読んだ空海は更に理解を深めるため、入唐を決意したのである。

空海の他にも、夢を見た仏僧の話がないか探してみると、平安時代後期から鎌倉時代の僧が見た夢のことを記した資料がいくつか見つかった。

問 2 下線部に関連して、山尾さんが探してきた次のⅠ～Ⅲの資料について、夢を見た仏僧が活躍した時期に従って、古いものから正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

Ⅰ 紫雲の中より、くろくそめたる衣著たる僧一人とびくだりて、わがたちたるところの下に住立す。……ここに源空合掌低頭して、問てまふさく、これ誰人の来りたまふぞやと。答て曰はく、われはこれ善導(注1)なりと。また問てまふさく、なにのゆえに來たまふぞや。また答て曰はく、余不肖なりといふども、よく専修念仏のことを言す。はなはだもて貴しとす。ためのゆへにもて來れるなり。また問て言さく、専修念仏の人みなもて往生を為すやと。いまだその答をうけたまはざるあいだに、忽然トシテ夢覺め了んぬ。

Ⅱ 又云、夢と現とを夢に見たり。(弘安十一年正月二十一日夜の御夢なり。)種々に変化して遊行するぞと思ひたると夢にて有りけり。……当世の人の悟りありと甸甸(注2)はこの分なり。まさしく生死の夢覺めざれば此の悟りは夢なるべし。実に生死の夢をさますんずる事は、ただ南無阿弥陀仏なり。

Ⅲ 往生要集を撰<sup>えら</sup>びて、極楽の指南を示し、菩提の資糧<sup>(注3)</sup>を施せり。その時に夢に告げて言はく、觀世音微咲<sup>みしやう</sup><sup>(注4)</sup>して金蓮華<sup>こんれんげ</sup>を授けたまひ、毘沙門蓋<sup>がい</sup><sup>(注5)</sup>を捧<sup>しょう</sup>げて、聖人<sup>しょうにん</sup>の前に立ち侍<sup>つこうまつ</sup>るといへり。

(注1) 善導：唐代の僧。中国における浄土教の大成者。

(注2) 匍匐：声を大にして言うこと。

(注3) 資糧：自分の助けとなる善根功德。

(注4) 微咲：優しくほほえむこと。觀世音は觀音に同じ。

(注5) 蓋：天蓋。美しい飾りを施したかさ。

① I — II — III

② I — III — II

③ II — I — III

④ II — III — I

⑤ III — I — II

⑥ III — II — I

## 日本史B

佐和田さんのレポート

高野長英と「夢」

江戸時代の洋学者である高野長英は、1838年に『戊戌夢物語』を著したが、この書物の内容が幕府に伝わったことは蛮社の獄が起こる一因になった。

『戊戌夢物語』は長英が夢の中で聞いた話を記すという体裁で書かれた。その話は、前年に起こったモリソン号事件に関するものである。(ただし長英はモリソン号をアメリカではなくイギリスの船と間違えている。)『戊戌夢物語』の一部を抜き書きして、長英の意見について考察してみることにする。

イギリスは、日本に対して、敵国にては之無く、① いはゞ付合も之無く、他人に候ゆえ、今彼れ漂流人を憐れみ、仁義を名とし、態々送り来り候者を、  
② 何事も取合申さず、直ちに打払に相成候はゞ、日本は民を憐れまざる不仁の国と存じ、若し又万一其の不仁不義を憤り候はゞ、③ 日本近海にイギリス属島 夥しく之有り、始終通行致し候えば、後来海上の寇と相成候て、海運の邪魔とも罷り成り申すべく、……或は又ひたすらイギリスを恐る様に考付られ候はゞ、④ 国内衰弱 仕り候様にも推察せられ、恐れ乍ら、国家の御武威を損ぜられ候様にも相成候はんやと……

問 3 『戊戌夢物語』の抜き書きの部分について、佐和田さんが考察した文章のうち、誤りがあるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① イギリスについて下線部①のように書いているのは、鎖国政策のもとでオランダ以外のヨーロッパの国と交流しなかったことの表れである。
- ② 日本側がモリソン号に対して下線部②のような態度を取ったのは、江戸幕府が外国船を二念無く打ち払う命令を出していたことによる。
- ③ 下線部③の記述は、長英がイギリスが香港やフィリピンを海外進出の拠点にしているという情報を得て書いたものだろう。
- ④ 下線部④の部分は、モリソン号事件と同じ年に起こった大塩の乱を念頭に置いた記述であると考えられる。

(下書き用紙)

日本史Bの試験問題は次に続く。

Sample

本間さんのレポート

吉野作造と「夢」

大正時代、政治学者の吉野作造はある古本屋で『西哲夢物語』という書物を見つけて購入した。この書物は、民権派の星亨らが大日本帝国憲法の草案などを盗んで、秘密裏に出版したものだった。この秘密出版は明治20(1887)年の10月のことだったが、<sup>a</sup>その2か月後に政府が公布した法令によって、星亨ら民権派は弾圧された。この法令は『西哲夢物語』の秘密出版に大きな衝撃を受けた政府の怒りによるものという説もあり、それが真実ならば民権派にとっては悪夢になったと思われる。

問題となった『西哲夢物語』は、「グナイスト氏談話」「普魯西(プロシア)憲法」「日本憲法原規」の三部構成である。このうち「グナイスト氏談話」は、ベルリン大学の教授だったグナイストが行った憲法に関する講義を記録したものである。グナイストは講義で「普魯西(プロシア)憲法」の各条文を取り上げて、日本が採用すべきかどうかについて私見を述べている。

議長は選挙の上、帝王の許可を請ふことと為し置くべし。官吏云々以下は日本にては全く削るべし。王権を強く為すには官吏を成るべく両院に入れ置くべし。此条(注)は元と官吏を入るを妨ぐ<sup>いれ</sup>ために設けたり。故に<sup>かよう</sup>ケ様のことは削り去るべし。又<sup>b</sup>上院は開化を妨げ、下院は金を出すことを妨げるの弊多く有り。故に国会を開く前に予め早く用意すべし。

(注) 1850年プロイセン憲法の第78条を指す。議員の資格審査に関する内容。

上に挙げた例を見ても、グナイストは王権すなわち君主権の強化が重要であると説いている。このような講義が行われたこともあって、大日本帝国憲法はドイツ(プロシア)式の憲法理論の影響を強く受けるようになったのだろうと考えられる。

吉野作造はこの『西哲夢物語』について研究しただけでなく、昭和初期に公開したので、その内容が多くの人々に知られることになった。

問 4 下線部①に関して、「政府が公布した法令」によって民権派が受けた弾圧の内容を、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 東京にある皇居の付近から強制的に排除された。
- ② 政府を批判する新聞や雑誌を発行停止の処分にした。
- ③ 集会や結社の自由を制限し、政社の活動を規制した。
- ④ 民権派の政党が支部を設置することを禁止した。

問 5 下線部②に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 5

X 貴族院を基盤として成立した清浦奎吾内閣は、第二次護憲運動を起こした護憲三派と対立し、議院を解散して総選挙を行った。

Y 第一議会では、衆議院の過半数を民党が占めたため、第1次山県有朋内閣は政費節減・民力休養を掲げて民党勢力に対抗した。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |